



謹賀新年



扶桑町長
さば せ たけし
鯖瀬 武

新年おめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は町政に対しまして温かいご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年5月に町長に就任いたしましたして、早くも8ヶ月が過ぎようとしています。新型コロナウイルス禍中での就任となり、その対策を最優先に進めなければならぬ状況が続き、ご挨拶が遅れましたことをお詫び申し上げます。

未だ新型コロナウイルスの収束の気配が見えない中、皆様方も昨年1年はご苦勞が多い年だったことと思います。町におきましても、施設の閉鎖や、イベント等行事の中止も相次ぎ、大変ご迷惑をお掛けいたしました。新しい生活様式も浸透してきていますが、状況の収束までは、引き続き一人一人が感染予防を意識していただくことが大切です。マスクの着用、手洗いの徹底などを行いつつも、新たな気持ちで新年を過ごしていただきたいと思っております。

さて、町政における令和3年は、先送りになっておりました児童館建設に着手いたします。新たに意見を募り、お子さんたちが楽しく過ごせる施設となるよう設計を進めておりますので、完成まで今しばらくお待ちください。その他の子育て支援といたしまして、現在、福祉児童課と保健センターの2箇所

で運営しております子育て世代包括支援センターを保健センターに統合し、妊娠から子育てまでワンストップでサービスの提供を行います。また、小中学校では全児童・生徒に配備したタブレット端末を活用した、ICT教育を進めて参ります。

その他といたしましては、利用者の方の安全性を確保するために総合体育館の天井改修工事を行います。工事期間中は利用制限など、町民の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、耐震化を見据えたものになりますので、何とぞご理解くださいますようお願い申し上げます。

また、新型コロナウイルス関連施策につきまして、プレミアム商品券の発行や自宅待機となった方への生活支援事業など、引き続き状況を把握しつつ、進めて参りたいと思っております。

扶桑町は道路・鉄道面のアクセスが良く、郊外には田畑が残るなど自然が身近に感じられる「ちよūdōい、いなか」「住みやすいまち」であると自負しております。この住みやすい扶桑町のイメージを更に高め、誇れる故郷となるよう引き続き、職員一同結束して職務に当たっていく所存です。

町民の皆様には、何とぞ町政に対し本年も変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のお一層のご健勝とご繁栄、そして新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束を祈り、新年のご挨拶とさせていただきます。

